

PE・VC・CVC向けサービス

PwCあらた有限責任監査法人



www.pwc.com/jp

PE・VC・CVCファンドのさまざまな課題解決のために

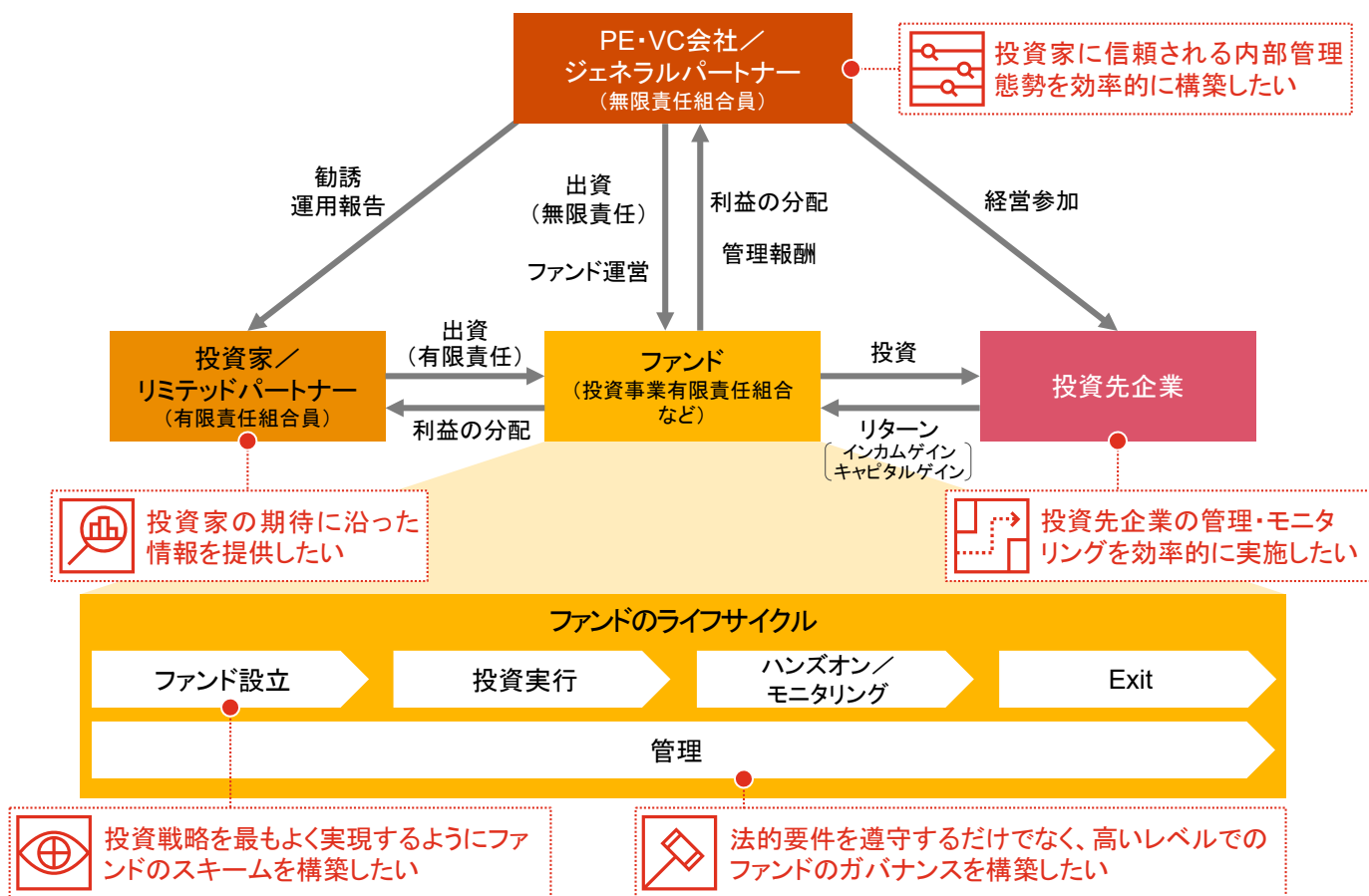
昨今の複雑化した経営環境において、PE・VC・CVCファンドに対する期待は高まっている一方、その課題は多様化・複雑化しています。私たちは、PE・VC・CVCファンドを取り巻く各ステークホルダーにおいて、また、ファンドのライフサイクルを通じて発生する課題に対して、さまざまなサービスを提供しています。

PE・VCファンドが抱える課題

日本でも大手企業のカーブアウト案件や事業承継案件においてプライベート・エクイティ・ファンド（以下「PEファンド」）の活用が広く認知されてきています。また、デジタルテクノロジーの進化やオープンイノベーションの発展によりスタートアップの資金需要も増しており、ベンチャー・キャピタル・ファンド（以下「VCファンド」）の果たす役割も大きくなっています。

また、投資家から見てもPE・VCファンドは投資対象としての魅力を増しており、一つのアセット・クラスとしてのポジションを確立しています。同時に、投資家からはファンドの適切な管理・運用を求める声が大きくなっており、運用会社やファンドにおける内部管理態勢の構築ニーズが高まっています。

PE・VCファンドの運用会社は、ファンドを取り巻くステークホルダーごとに、また、ファンドのライフサイクルにおけるステージごとに、さまざまな悩みや課題を抱えています。



CVCファンドが抱える課題

現在、国内においてコーポレート・ベンチャー・キャピタル（CVC）を設立し、財務リターンのみならず事業シナジーを追求する動きが活発化しています。加えて、CVC設立にあたり、既存VCとの連携ではなく、自社で運用会社を新設し、ファンドを設立する動きも増加しております。

運用会社・ファンドの設立は通常の子会社設立と異なり、ストラクチャーの検討、会社法、金融商品取引法、その他関連法令への対応等ファンド特有の検討が必要になるため、特にCVCにおいては運用上の課題に加え設立段階でより多くの課題への対応が必要となります。

私たちのサービス

私たちPwCあらた有限責任監査法人は、PE・VC・CVCファンド、運用会社、投資先に対して、ファンドの性質や投資戦略、ライフステージごとに異なるさまざまな課題を解決するため、会計監査のほかにも、課題に応じてカスタマイズしたさまざまなサービスを提供いたします。

また、PwC JapanグループおよびPwCグローバルネットワークとの連携により、税務アドバイス、ディールアドバイス、ファンドや投資先の海外展開に対する支援等、ファンドを取り巻く多様な課題に対してシームレスな解決を図ります。



運用会社の内部管理態勢に関するサービス

- 内部監査支援
- 内部管理規程・マニュアル策定支援
- リスク管理全般支援



投資家対応に関するサービス

- SSAE18検証サービス
- GAAPコンバージョン支援
- 投資家向け報告内容・プロセス改善支援



ファンド設立に関するサービス

- 運用スキーム構築支援
- 投資運用管理規程・マニュアル策定支援
- GP会社の設立に関するアドバイス



ファンド管理に関するサービス

- 内部監査支援
- 公正価値評価支援(評価マニュアル策定等)
- リスク管理全般支援



投資先の管理に関するサービス

- 投資先モニタリング業務の効率化支援
- 投資先の内部管理態勢構築支援
- 投資先の上場支援



PwCあらた有限責任監査法人のご紹介

PwCあらた有限責任監査法人は、卓越したプロフェッショナルサービスとしての監査を提供することをミッションとし、世界最大級の会計事務所であるPwCの手法と実務を、わが国の市場環境に適した形で提供しています。さらに、国際財務報告基準(IFRS)の導入、財務報告にかかわる内部統制、また株式公開に関する助言など、幅広い分野でクライアントを支援しています。

PwC Japanグループ

PwC Japanグループは、日本におけるPwCグローバルネットワークのメンバーファームおよびそれらの関連会社(PwCあらた有限責任監査法人を含む)の総称です。各法人は独立して事業を行い、相互に連携をとりながら、監査およびアシュアランス、コンサルティング、ディールアドバイザリー、税務、法務のサービスをクライアントに提供しています。